https://www.gerodontology.jp/
日本老年歯科医学会 Facebook
日本老年歯科医学会 公式 X
本紙に掲載されている本会オンライン事業の画像は，本会理事長が撮影を許可した広報委員会によるものです。本会オンライン事業に関するコンテンツの複製，その利用等は，目的の如何および個人利用を問わず，本会理事長が許可した場合を除き一切禁止しております。

Japanese Society of Gerodontology 1986

News Letter

No.65

一般社団法人日本老年歯科医学会 会報

2026年９月30日発行

【本号のトピックス】

IAGG 2026参加報告／第38回学術大会案内／学会からの注意喚起
名誉会員のご紹介／専門医認定者の声／支部だより（福岡支部・北海道支部）

IAGG 2026 World Congress参加報告

松尾浩一郎
（東京科学大学大学院医歯学総合研究科地域・福祉口腔機能管理学分野 /
IAGG-AOR (Asia-Oceania Region) Secretary General）

第 23 回 IAGG World Congress of Gerontology and Geriatrics（国際老年学会世界大会）が「Ageing Well in a Globalized World」をテーマに，2026 年 7 月 5～8 日にオランダ・アムステルダムにて開催されました。本大会は世界各国から 3,500 名以上が参加し，シンポジウムなどが 25 列並列で同時に行われるような非常に大きな大会です。

本大会では，老年医学・老年学に関する多様な研究発表が行われた一方で，歯科・口腔保健に関連する演題は比較的限られており，Oral health 関連のシンポジウムは 1 件のみでした。超高齢社会における Oral health の重要性を国際的に発信するためにも，次回大会では本学会員をはじめ，歯科関連領域からより多くの発表が行われることを期待しています。

また，本大会期間中の IAGG Council Meeting において，2030 年世界大会までの任期となる IAGG-AOR（Asia-Oceania Region）の新役員として，理事長に国立長寿医療研究センターの荒井秀典先生，理事幹事に松尾浩一郎が就任しました。次回 IAGG-AOR 大会は 2028 年 7 月 6～8 日にマレーシア・クアラルンプールで，次回 IAGG 世界大会は 2030 年 4 月 6～12 日にオーストラリア・シドニーで開催予定です。皆様のご参加ご発表をお待ちしております。





写真左：IAGG-AOR Council メンバー一同
写真右：IAGG-AOR 前理事長の林　正介先生と現理事長の荒井秀典先生

第38回学術大会のお知らせ　#JSG27
人生の最終章を支える老年歯科医学

大会長　阪口英夫
（医療法人永寿会　陵北病院　副院長）

一般社団法人日本老年歯科医学会第 38 回学術大会を下記要領で開催いたします。大会テーマは「人生の最終章を支える老年歯科医学」としました。また本大会は第 35 回日本老年学会総会との併催で，構成する 7 学会が同時に開催されます。開催地は鹿児島県鹿児島市となります。鹿児島は美味しいお酒や食べ物が多くあることで知られています。学会の合間に，美味しいお酒や食べ物を囲んで語らうことで，老年歯科医学をさらに発展させる会になることを期待しております。ぜひ多くの方々にご参加いただければ幸いに存じます。

日　時：2027 年 6 月 11 日（金）～ 13 日（日）
会　場：宝山ホール（鹿児島県文化センター）
（鹿児島市山下町 5−3）
鹿児島市中央公民館
（鹿児島市山下町 5−9）
事務局：
＜一般社団法人日本老年歯科医学会
第 38 回学術大会事務局＞
〒192-0153 東京都八王子市西寺方町 315 番地
陵北病院歯科診療部

＜運営事務局＞
株式会社ワールドプランニング
〒162-0825 東京都新宿区神楽坂4-1-1 オザワビル2F
TEL：03-5206-7431
E-mail：jsg38@worldpl.co.jp
大会ホームページ：
https://world-pl.com/jsg38/



日本老年歯科医学会第 38 回学術大会および
第 35 回日本老年学会総会ポスター

口腔粘膜湿潤度測定における専用センサカバーの適正使用について（注意喚起）

口腔粘膜湿潤度の測定に用いられる口腔湿潤計・口腔水分計は医療機器であり，法令等に基づき，添付文書および取扱説明書に従って適正に使用することが求められています。口腔湿潤計・口腔水分計の添付文書には，各機器に指定された専用のセンサカバーを使用することが明記されており，測定に際しては指定された専用センサカバーを使用する必要があります。

口腔湿潤計･口腔水分計は，BIA（生体電気インピーダンス解析）法を測定原理としており，専用センサカバーを介してセンサを口腔粘膜に接触させた際の測定値を算出します。したがって，センサカバーは単に感染予防のためだけに使用するものではなく，各検査機器の測定条件を構成する要素の一つです。専用センサカバー以外のものや食品包装用フィルム等を使用した場合にも測定値が表示されることがありますが，その妥当性は保証されません。

測定に際しては，使用する医療機器の添付文書および取扱説明書を確認し，各機器に指定された専用のセンサカバーを使用するなど，定められた使用方法を遵守してください。

関係各位におかれましては，口腔粘膜湿潤度検査を含む各種口腔機能検査について，承認された医療機器を添付文書および取扱説明書に従って適正に使用していただくとともに，本注意喚起について関係者への周知をお願いいたします。

なお，製造販売業者からは，指定された専用センサカバー以外を使用した場合には，実際に測定値が影響を受け，正しく測定できないことが示されていることを申し添えます。

学会HP掲載の同記事もご確認ください

2026年度名誉会員のご紹介

新しく本会名誉会員になられた先生よりご挨拶をいただきましたので，以下にご紹介いたします。

河相安彦先生
（日本大学特任教授）



歴史ある本会名誉会員にご推挙いただきましたこと，心から感謝申し上げます。本会への入会はもう40年前になりますが，「作る補綴」から「補綴装置を使う高齢者の心理」に学びを広げたいと思ったことが入会の理由でした。当時の先輩方が，渡邉郁馬先生の編著『老年歯科』を片手に携えている私を見て，「答えのない領域」に足を突っ込んだ，と呆れていたのを今も思い出します。確かに老年歯科は社会，患者，職種などの交絡によって答えを出すのが難しい側面があります。だからこそ，本会においてはさまざまな課題の最適解を探求され，ますます発展されることを期待しています。

【主な学会活動】
・理事，代議員
・広報（広報・研修）委員長，各種委員会委員
・第32回学術大会大会長（2021年6月開催）



新規　専門医認定者の声

山下裕輔先生
（鹿児島県・山下歯科）



大阪歯科大学卒業後，鹿児島大学大学院医歯学総合研究科口腔顎顔面補綴学分野にて口腔機能維持管理を学びました。現在，自院にて高齢者治療，歯科訪問診療，摂食嚥下リハビリテーションに従事しています。症例報告書では，口腔機能検査の結果や歯科訪問診療にて多職種連携を行い学んできたことをアピールしました。筆記試験は，これまでの診療に従事したことが活かされ無事合格できました。今後も地域医療に貢献しながら老年歯科医学の研鑽に努めていきたいと思います。

後藤拓朗先生
（三豊総合病院）



私は大学院修了後，地域の基幹病院にて勤務しております。そこでは急性期の歯科治療や周術期口腔機能管理，全身疾患を有する高齢者の歯科治療，摂食嚥下リハビリテーションのみならず歯科訪問診療も行っており，急性期から維持期まで幅広い症例を経験することができました。それらの経験を症例報告に示すことができたと思います。

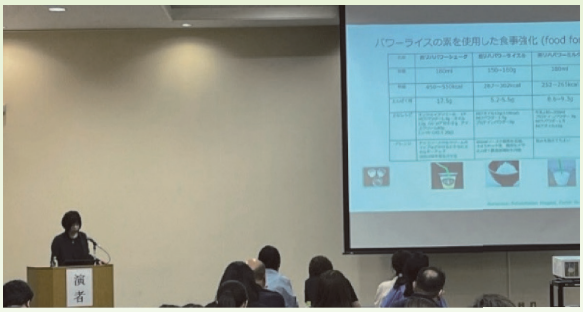
今後は専門医として病院内だけでなく，地域に貢献できるように活動していきたいと思っております。

支部だより

福岡支部共催セミナー「第 18 回福岡摂食嚥下サポート研究会」開催報告

福岡支部支部長　岩佐康行

2026 年 7 月 11 日（土）に標記研究会を対面型で開催しました。テーマは「リハビリテーション・栄養・口腔における連携の実際」で，熊本リハビリテーション病院栄養管理科科長兼サルコペニア・栄養支援センター副センター長の嶋津さゆり先生と，陵北病院歯科診療部長の大野友久先生にご講演いただきました。今回は 2023 年 12 月以来の開催でしたが，当日は 89 名の参加がありました。また，参加者の職種はさまざまで，遠く鹿児島など他県からの参加もあって盛会となりました。





嶋津先生と大野先生のご講演の様子

北海道支部主催「北海道大学高齢者歯科同門会講演会」開催報告

北海道支部　諸岡　亮

2026 年 7 月 18 日（土），北海道大学歯学部講堂において，日本老年歯科医学会北海道支部，北海道大学歯学部高齢者歯科学教室同門会共催によるセミナーを開催しました。当日は 49 名の方にご参加いただきました。

講師に一般社団法人是真会 長崎リハビリテーション病院理事長の栗原正紀先生をお迎えし，「高齢者医療と“口のリハビリテーション”」をテーマにご講演いただきました。超高齢社会において「口から食べること」を支えるための医科歯科連携，多職種協働，栄養管理およびリハビリテーションの重要性について，豊富なご経験を交えながらわかりやすくご講演いただきました。講演後は活発な質疑応答が行われ，日本老年歯科医学会会員のみならず，多職種との連携の重要性について理解を深める貴重な機会となり，たいへん有意義なセミナーとなりました。





栗原先生のご講演中の様子とご講演後の一コマ

編集後記

本年 6 月に広報委員会のメンバーが交代し，新たな委員を迎えました。これまでご尽力いただきました委員の先生方に，心より御礼申し上げます。今後も新メンバー一丸となり，会員の皆様に有益な情報を発信してまいります。日本老年歯科医学会公式 YouTube チャンネルへのご登録も，どうぞよろしくお願い申し上げます。

（伊藤誠康）



本会公式 YouTubeチャンネル

発行人　平野浩彦
編　集　（一社）日本老年歯科医学会広報委員会
事務局　〒170-0003　東京都豊島区駒込1-43-9
駒込TSビル　（一財）口腔保健協会内
電　話　03-3947-8891　FAX　03-3947-8341
E-mail　jsg@kokuhoken.or.jp